



「おひさまショップ」へようこそ!

前途洋々

毎年、菊池郡市小・中学校特別支援学級等学習成果発表会「なかよしフェスタ」が開催されていたのですが、昨年度からコロナ禍の影響を受け、各学校での取組で代替している状況です。本校では、「自立活動」として「おひさまショップ」を開き、手作りのストラップやグリーンパークで栽培したサツマイモを先生たちに模擬販売する取組を行いました。準備はもちろんのこと、お客さんとのやり取りやお金の計算(模擬銭ですが)など、この活動をとおして様々なことを学びます。実際の活動は、10日(金)に行いましたが、その日、私は不在だったため、前々日に練習を覗いてみました。最初こそ戸惑いが見られたものの、すぐに「いらっしゃいませ!」の声かけやおすすめポイントの説明、お客さんとのやり取りなど上手に行う様子が見られ、見ているこちらもうれしくなりました。本番の様子を聞いてみると、「緊張したけど楽しかった!」と言ってくれる子供たちが多く、充実感を得られたようです。みんなよく頑張りました!これからもいろいろなことにチャレンジしていきます!(これは練習中の子供の様子です)



地域ふれあい交流活動を実施しました～地域のパワーを感じたひととき～

3回の実行委員会を経て、12月11日(土)に無事に開催することができました。当日は、16世帯22人の児童の参加がありました。実行委員の皆様には、前日から焼き芋機を試運転し、チェックしていただくなど(もちろんそれだけではなく)、多くの時間を割いていただきました。当日お世話になったのは、南小校区青少協、区長会、民生児童委員、PTA、南ba小会、地域学校協働活動推進員、菊池少年自然の家、南部町民センター、中央公民館の方々です。保護者の皆様を入れれば、子供たちの数よりも、サポートして下さった大人の数の方が多かったという何とも心強い(贅沢な?)状況でした。以前もお伝えしたように、今回はミニ門松づくりにチャレンジしました。特別な機会がない限り、自宅で門松を手作りするというものもないかもしれません。そういった意味では、非常に貴重な体験活動と言えます。子供たちの様子を見てみますと、上手にのこぎりを使う子も多く、大人の力を借りながらどんどん作業を進めていました。実行委員、地域の皆様も笑顔で、「今日できて本当によかった。うれしい一日になった。」と口々におっしゃってくださいました。



作り方の説明を丁寧にいただいた、菊池少年自然の家専門職員の皆さん。



6年生女子は、のこぎりの使い方がかなり上手でびっくり!!ものすごいスピードでした。

縄を結んだり、松や梅の枝を立てたりして最後の仕上げです。門松の意味についても教わりました。



完成した世界に一つだけの門松と記念撮影!素敵な笑顔です。



当日まで、計画・準備に走り回っていただいた委員の皆様、本当にありがとうございました。紙面を借りて心より御礼申し上げます。また、校門にも大きな門松を立てていただきました!ぜひご覧ください。